

花沢の里周辺地区 景観まちづくりニュース

第1号

(平成30年2月16日)

発行：焼津市都市デザイン課

焼津市では、本市固有の景観の美しさと大切さを再認識し、市民・事業者・行政が協働で、良好な景観を守り次の世代に繋げていく、あるいは、好ましくない景観の改善を進めていく、「景観まちづくり」に取り組んでおり、現在、景観まちづくりに関する理念や方針、ルール等をまとめた「景観計画」の策定に向けた作業を進めています。その中で、花沢の里とその周辺*を「景観まちづくり重点地区」に選定し、「重点地区計画」を策定したいと考えております。

そこで、地区の景観まちづくりの考え方や具体的な取組みについて、協議会を設立し、地区の皆さんとともに検討していくこととなりました。

この「景観まちづくりニュース」では、花沢の里周辺地区の重点地区計画の策定に向けた意見交換など（花沢の里周辺地区景観まちづくり重点地区協議会）の様子をお伝えしていきます。

※対象となる地区の範囲は、今後の協議を踏まえて決定していきますが、現時点では花沢、野秋、吉津、高崎の各地区に関係する方々に協議会に参加していただいています。

第1回花沢の里周辺地区景観まちづくり重点地区協議会が開催されました！

◆協議会の構成◆

- ・委員は、自治会長や区長、住民等14名で構成されます。

◆第1回協議会の様子◆

- ・委員12名にご出席いただき、1月31日（水）に開催されました。
- ・当日は、協議会の背景や目的の説明、役員選出の後、景観に関する勉強会が行われ、地域の現況データ、市の考え、景観まちづくりの考え方、他地域の事例などが紹介されました。その後、2グループに分かれ、参加者同士で地域の現状・課題、これからの協議会の進め方などについて意見交換しました。最後には、それぞれのグループの意見交換の結果を発表し、互いに共有しました。
- ・意見の概要は、裏面をご覧ください。



意見交換の結果の概要

1. 地区の現状・課題

■地区の良い景観・残したい景観

- ・花沢は自然景観と歴史的な景観が良い。
- ・花沢は人々の暮らしの景観が魅力的だ。
- ・自然・歴史・文化を大切にしたい。
- ・地域全体の昔からののどかな雰囲気が良い。
- ・高崎や旧街道（やきつべの小径）の景観が良い。
- ・地域内できれいな草花を楽しむことができる。



■地区の課題

- ・多くの来訪者がいるが、大半の目的は、花沢の散策ではなく満観峰に登ること。
- ・観光によるにぎわいよりも地域住民の生活に配慮したい。
- ・来訪者によるごみ捨てや敷地内への立入りなどで住みづらくなならないようにすべき。
- ・バリアフリー対応など、誰もが楽しめる環境づくりが必要。
- ・来訪者の駐車場、案内対策が必要。
- ・トイレの未水洗化や水車小屋の騒音など、施設の問題がある。
- ・竹林、山林、登山道などの維持管理が求められる。



■景観まちづくりを進める上での意見

- ・花沢の里の周辺部はあまり歴史を感じられない。
- ・無理せず、できる範囲でやっていくべき。
- ・住民の関心を高め、住民の意見を反映してほしい。
- ・保存会と連携してほしい。
- ・ルールは作りやすいのではないか。



2. これからの進め方について

- 住民の意向把握は、花沢などで実施している既存のアンケートを活用してほしい。
- 住民アンケートを実施するのであれば、検討が進んだ時点で実施する方が良い。
- みんなで地区のまち歩きをやってみたい。
- 同様の景観まちづくりを進めている他市町の視察に行ってみたい。



お問い合わせ

焼津市役所 都市政策部 都市デザイン課 計画担当

〒425-8502 焼津市本町 5-6-1 (アトレ庁舎 2階) TEL : 054-626-2160 FAX : 054-626-2184